

会議名	第1回もと西淡路小学校跡地検討会議
日時	平成31年4月10日(水) 午後7時から午後8時30分まで
場所	東淀川区役所出張所
参加者 (順不同)	もと西淡路小学校跡地検討会議委員(資料2参照) 宮腰副区長 保健福祉課 子育・教育担当(奥野課長・宇野課長代理) 地域課 安全安心担当(北山課長)、企画調整担当(松並課長・柳澤係長)、地域担当(前田課長・古川課長代理・天野係長)
決議事項 (簡潔に記入してください)	<p>1 副区長あいさつ この跡地利用が、全国的なモデルとなるようなものになればと思っている。地域と区役所をつなぐ架け橋を担っていただき、地域の声をこの検討会議の場で届けていただきたい。</p> <p>2 もと西淡路小学校跡地検討会議の設置について 「もと西淡路小学校跡地検討会議設置要綱」に基づき説明。 統合により廃校となったもと西淡路小学校の跡地のあり方を考え、今後の活用方策に関する検討を行うため設置。学校の跡地について、大阪市の未利用地活用方針においては、売却を前提とした処分検討地として分類。学校適正配置の指針では、地元住民の意見・要望を十分に聞き、柔軟な対応を行い、慎重に検討する必要がある。 現在のもと西淡路小学校は暫定期間の利用。生涯学習、選挙や避難所等、区内で整理をし利用。この検討会議の場では、跡地全体の長期的な管理運営や活用方策について検討していきたい。任期の目途は1年間と考えている。</p> <p>3 委員自己紹介 副区長から一人ずつ自己紹介(事務局含む)。</p> <p>4 もと西淡路小学校の跡地利用について 学校の跡地利用について、資料3-1に基づき説明。 地域防災拠点を近隣で代替機能を確保することは難しいため、区役所としては避難所の機能確保を条件とした有効活用を検討。 地域の活性化のために学校跡地にどのような機能を持たせるのか、検討をしていきたい。皆さんから出された意見をもとに市場調査やマーケットサウンディングを検討している。 西部地域バリアフリーまちづくり構想について、資料3-2に基づき説明。 まちが大きく変化しつつある西部地域の、中長期的なまちづくりを行うために、西部地域まちづくり協議会が3年前に発足し、現在の構想を昨年3月に策定。 この構想を念頭においていただき、もと西淡路小学校跡地検討会議を進めていただきたい。</p> <p>5 学校跡地活用事例について 学校跡地活用事例について、資料4に基づき説明。</p>

・「北野工房のまち」

旧北野小学校の校舎をリノベーション。各教室を利用し、スイーツのお店、神戸土産を揃えたお店、手作り体験が出来る工房やカフェも併設。

・「大智学園高等学校」

学校の跡地を新たな学校に利用。地域活動にも利用可能。

・「よしもとクリエイティブカレッジ」

ここも各教室が事務所となっている。

売却ではなく、賃借契約を結んでいる。賃料で維持管理をし、地域を活性化。

・「十思スクエア」

活性化施設として生まれ変わった事例。

・「R373やまさと」

多目的ホール、諸室の貸出、農家レストラン、お菓子工房が入っている。

山里地区振興協議会が管理運営している。

これらの事例は、都市農山漁村交流活性化機構のサイトから抜粋した、ごくごく一部の事例になっており、他にもたくさんの事例があるので、参考にしていただきたい。

6 今後のスケジュールについて

次回は6月の開催を予定。その後、3か月ごとに開催をしたい。次回以降はワークショップを交え、未来に向かって明るい展望について話し合ってもらいたい。

→ 6月12日、9月11日、12月11日、3月11日の水曜日 19時から開催予定。

7 その他

次回までに現状や課題等は、可能な限りの資料を提出させていただく。

次回会議開催日	令和元年6月12日（水） 午後7時～（予定）
次回会議開催場所	東淀川区役所出張所